



# 財源確保は先行き不透明

# 単年度は黒字

# 財政課題は山積! 住民福祉の向上は

平成23年度決算  
検証

**決算特別委員会**  
委員長  
池田 光政

**特別会計**  
問 国保税の不納欠損額は毎年高額だが、納めない人が得をしないよう、納めている人との公平性を確保してほしい。  
答 滞納者には窓口で短期証を発行し、納税相談の機会を持つようにしている。分納申請等促し、

できていなかった。  
問 なかなか企業誘致に至らない。今後、どう検討するのか。  
答 進出企業への固定資産の減免措置を手厚くすることや奨励金の検討なども行いたい。財政措置が伴うので、慎重に検討したい。  
問 筑後市美術展で以前入賞作品を市で購入していたが、その作品はどのように管理しているのか。ぜひ入れ替えて広く市民へ公開してほしい。  
答 買い上げた絵画は、サンクス筑後で保管している。

今年度例では、平成23年度の決算を審査するために特別委員会を設置、9月24日～26日までの3日間、一般会計のほか特別会計、水道事業会計など慎重に審査した。その結果、各会計とも原案どおり認定した。  
一般会計は歳入総額172億1,715万2,736円、歳出総額162億4,198万7,815円となり、翌年度へ繰り越すべき財源2,582万円を差し引き、実質収支は9億4,934万4,921円の黒字決算となった。  
単年度決算で黒字とはなったものの、先行き不透明な経済状況や国の財政状況等考えれば、市の税収がどうなっていくのか、国からの交付税などの財源確保が継続していくのかなどの不安材料は多い。  
歳出面においても、市庁舎やサンクス筑後など老朽化した公共施設の大規模改修、下水道事業への繰出金、少子高齢化対策などの財政課題は山積している。引き続き、議会として筑後市の財政健全化に向けての施策をしっかりと検証しながら、市民生活の安心を確保していきたい。

◇平成23年度一般会計の決算額

区分	歳入	歳出
決算額	172億1,715万円	162億4,199万円
対前年度比	△8.5%	△9.8%

納めてもらうよう指導している。  
問 介護予防事業は、事業により参加者一人あたりに係る費用がかなり異なっている。「さんかく塾」など、地域のボランティアが多く関わる事業にはもつと手厚い支援をしてほしい。  
答 現在、どういった支援が必要か地域の要望を聞いている。今後、要望を分析し、必要な支援について考えていく。

**一般会計歳入**  
問 基金積立てまで入れると約15億円の執行残となる。当初予算からすれば1割近い。もつと住民要望に積極的に応える施策を。  
答 お金が余ったから使

◇平成23年度特別会計の決算額

会計区分	決算額 (対前年度比)	会計区分	決算額 (対前年度比)
国民健康保険	歳入 53億7,140万円 (1.6%)	市営住宅敷金管理	歳入 2,560万円 (△1.3%)
	歳出 53億3,972万円 (1.7%)		歳出 137万円 (△24.7%)
後期高齢者医療特別会計	歳入 5億4,308万円 (2.4%)	住宅新築資金等貸付	歳入 212万円 (△14.1%)
	歳出 5億2,487万円 (1.6%)		歳出 6,006万円 (△14.1%)
介護保険	歳入 30億4,366万円 (7.2%)	下水道事業	歳入 9億3,269万円 (△14.1%)
	歳出 30億2,020万円 (7.8%)		歳出 9億3,084万円 (△14.0%)
地域包括支援センター事業助定	歳入 3,726万円 (0.9%)	※地方独立行政法人筑後市立病院貸付	歳入 4億4,739万円
	歳出 3,077万円 (1.1%)		歳出 4億4,739万円

※新規のため、前年比なし

**一般会計歳出**  
問 ふれあいの里づくりは計画どおり行っているか。  
答 現在、5行政区で行われている。事業計画や決算など、市民も入った委員会で検証している。  
問 職員採用に関して、応募者が年々減っている。人材育成の面からは由々しきこと。原因は。  
答 就職サイト等利用し、広く全国へ周知しており、実際に全国規模での応募があるが、受験者数となると減る傾向がある。受験者が採用数の多い自治体へ流れていることも考えられる。  
問 市民税の申告会場(地域公民館)でかなり待たされたと聞くが、職員体制は十分か。  
答 例年の傾向から職員配置している。公民館での申告者は年々減少しているため、サンコア会場に職員を集中させている。申告時期をずらすなど、改善策は講じている。  
問 乳幼児医療制度は、対象を拡充することを考えているのか。  
答 拡充については課題。全国的、周辺自治体ともに就学後の助成を行っている所が多い。今後、中学校までの助成を試算、検討している。他の子育て支援策とのバランスを考えながら行う。  
問 生活保護対象世帯が全国的に増加している中で、市の傾向はどうか。  
答 若干の増加。失業率が高いことが原因のひとつ。  
問 恋ぼたる物産館の備品は保険加入していなかったがなぜか。  
答 建物の火災保険が念頭にあり、そこまで配慮

◇平成23年度企業会計の決算額

会計区分	収益的収支 (対前年度比)	資本的収支 (対前年度比)
水道事業	収入 7億1,307万円 (5.2%)	収入 2,993万円 (△51.7%)
	支出 4億8,572万円 (△3.8%)	支出 5億5,394万円 (161.5%)